



基調講演を行う片山教授＝浜松市中区のアクトシティ浜松

## 文化施策の推進考える

### 中区でフォーラム 組織体系を検討

文化庁主催の「地域の文化施策推進体制構築のためのフォーラム2019」が1日、浜松市中区のアクトシティ浜松で開かれた。全国各地の自治体や文化財団の関係者ら約100人が参加し、基調

講演やグループ討論などを通じて地域課題に合った組織体系や支援の在り方を検討した。

フォーラム議長を務めた静岡文化芸術大文化政策学部の片山泰輔教授が、専門性を持った人材が芸術文化の振興を目的に支援する「アーツカウンシル」の機能などを解説した。機能の中核は補助

金交付による助成事業であると説明し、「補助金を受け取った芸術家や文化団体が行う公益的活動により、幸福になる市民が受益者にならないければいけない」と述べた。

参加者は3グループに分かれ、組織の設立意義や求められる能力などをテーマに意見を交換した。  
(浜松総局・小沢佐太郎)